

平和について考える

「となりの難民」

織田朝日 著 旬報社 (Y369オ)
戦争や、紛争などによって自分の国に住めなくなったら、って考えたことがありますか？
知らない外国で暮らさなくてはいけない、でも、その外国にも、いてはいけないと言われたら・・・
この本は、日本へ逃れてきたけれど、住んではいけないと言われ、外国人収容施設に収容されている外国人がどういう環境におかれているのかを紹介しています。

「ワタシゴト」

中澤晶子 作 汐文社 (K913ナカ)
修学旅行で広島を訪れた中学生5人。
それぞれが悩みを抱えながら、広島で何を見て、何を感じたのでしょうか。

「ぼくは13歳、任務は自爆テロ。」

永井陽右 著 合同出版 (Y316ナ)
最も危険な^{ぶんそうちいき}紛争地域ソマリアをなんとかしたい。生きるためにテロリストになってしまう若者たちを、^{しやかいふっき}社会復帰させるプロジェクトに取り組む著者らが考えるテロと紛争の解決策とは。

「まるで魔法のような本当の話」

TERUKO 著 くもん出版 (K404チ)
ねむれないお姫様に物語屋が語る、不思議な物語の数々。赤い血を流す木、透明な生きもの・・・
嘘のようだけど本当にあるお話なのです。
物語にあわせて、実物が写真や絵で説明されています。

「算数・数学で何ができる？」

DK社 編 松野陽一郎 監訳 東京書籍 (K410サ)
「数」って、なんのためにあるのだろう？
「数」って、どうやってできたのだろう？
「数」や「数学」があるおかげで解明されたことが、実は、世の中にはたくさんあるのです。

「科学者になりたい君へ」

佐藤勝彦 著 河出書房新社 (K407サ、Y407サ)
科学者ってどんな人たち？どうやって科学になるの？科学を仕事にするってどんな感じ？
宇宙物理学者が、科学者のリアルを教えてください。科学の世界へようこそ！

理系を楽しもう！

お す す め の
本 棚

～中学生向け～



No.17
2022

佐倉市立図書館

佐倉図書館 485-0106
志津図書館 488-0906
佐倉南図書館 483-3000

「妖怪コンビニで、バイトはじめました。」

令丈ヒロ子 著 あすなる書房 (K913レイ)
イズミが見つけたのは、コンビニなのに薄暗い、月夜のような「ツキヨコンビニ」。店に集まる風変わりなお客さんは、人ではないモノたちだった。ユウレイがみえるイズミは、お店でバイトしないかとさそわれて、はたらくことになった。

「normal?」

井手上 漠 著 講談社 (779.9イ)
性別の壁に悩み、容姿や仕草を気にして小学生時代を過ごした井手上さん。母の言葉を境に自分らしさを「カラフル」に表現して、文部科学大臣賞を受賞します。普通ってどんなことか、考えさせられます。

「屋根に上る」

かみや としこ 作 学研プラス (K913カミ)
暁は夏のはじめ、元大工の村田さんと、彼のところへ出入りしている小学校の時の同級生、一樹と出会う。村田さんに大工仕事を教えてもらいながら一緒に過ごす中で、苦手だった一樹との関わりが少しずつ変わってくる。

それぞれの物語

「あしたの幸福」

いとうみく 著 理論社 (K913イチ・Y913イチ)
中学生の雨音は、父と2人ぐらしだったが、その父が事故で亡くなり、顔もおぼえていない母と暮らすことになった。そこへ、父が再婚するはずだった、父の婚約者もなぜかやってきて…
奇妙な3人のくらしがはじまった。

「ともしびをかかげて」

ローズマリ・サトクリフ作 岩波書店 (K933サ、Y933サ)
衰退するローマ帝国は、支配するブリテン島から去った。島に残った人々は異民族との争いに直面する。ローマ軍の指揮官だったアクイラやその妹も大きな運命のうねりに巻き込まれていく。

「彼の名はウォルター」

エミリー・ロッド著 あすなる書房 (K933ロ)
トラブルにみまわれ、人の住んでいない古屋敷に避難したコリン達。そこで見つけた奇妙な本を読んでいくうち、あたりには不気味な気配が。
本が導く思いがけない真実とは？

問題は、「問題ではない」のです。

「世界でいちばん優しいロボット」

岩貞 るみこ 文 講談社 (K281イ)
みんなが幸せになるチョコレートを作ろうとした石原さん。取りすぎでアナゴがへらないよう、小さなアナゴを逃がすことを考えた斎田さん。孤独をなくしたい、という思いからロボットおりひめを作った吉藤さん。問題に向き合い、立ち向かっていく3人の姿。

ネットを使うその前に、読んでおくべし！

「ネットの約束」

日経 BP コンサルティング情報セキュリティ研究会 著
日経 BP コンサルティング (K547ネ、Y547ネ)
ネットの世界は楽しい？でも、使い方を間違えると危険！正しい知識を身につけてネットを賢く使うために、今こそ知っておきたい、インターネットの正しい使い方がマンガも交えてわかりやすく書かれています。

大切な人を、失うということ・・・

「大切な人は今もそこにいる」

千葉望 著 理論社 (369.3チ)
東日本大震災の時、著者の実家(お寺)は避難所となりました。そこでの出来事を中心に、大切な人を失うということはどういうことか、この本を通じてみんなに投げかけています。